



破壊的イノベーションという現実

令和6年7月26日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

現実の変化は技術とシステムの進歩における企業のプレゼンスの拡大にける変化を現実へ与える。

これらは企業における倫理的自己と新しい経営システムの構築を提案するものである。これらは絶対的な健全性における企業経営が新しい可能性を実現できることを意味するものである。

今日の革命的な社会転換はこれら経済が牽引しているのである。これらは知的集約という企業の新しい現実への転換は生産性や効率性を拡大させ、その大きな資本力における新しい現実への移行を与えているのである。

技術の進歩は製品の向上を与え、それらが社会と生活における新しい需要を創造するものである。

これら欲望の資本主義は、変化という今日の現実を牽引しているのである。

これらは経済原理への考察を再度要求するものである。自由経済システムという創造は資本主義という資本原則における経済を有し、これらが社会と生活を形成するものである。

これらは生存要求における現実が、技術進歩においてより優れた生活と社会への転換を与えるものである。

これら結果を証明するものは資本力であり、それが現実を形成する。これらビジネス原則と原理である。

これらがアナログからデジタルへ、手工業から、機械生産への転換を明確に今日行なっているのである。

これら変化が革命的な転換を社会と生活において与えているのである。これらはコンピュータという新しい現実が社会と生活の転換を与えているものであり、未来という現実の創



造はこれに準ずるものである。

しかし社会学と哲学における考察は明確にこれら現実への答えを与えなくてははいけない。

これらは生存とその需要という原始から変わらない現実がその欲望の拡大とともに現実を与えているということは正しいのである。

これらは良識と倫理的判断においてダブルスタンダードを与えるものである。

これら生存と欲望という現実是对立を与え、進歩という幻想のもと未来という現実への選択は存在するものである。

これらは知的進歩性が人間の本能と対峙するものであり、倫理的な克服が新しい未来を与えるということは正しいのである。

しかし猿の惑星（ハリウッド映画）という現実において、その本能が知性を凌駕する記述も存在する。

これらは文明史における人類の選択であり、技術進歩が与える新しい未来という約束へ、どのような選択が人類において存在するかは興味が大きい。

経済という現実がコントロールを失い、富という現実が現実を支配することは存在するのである。

これらは理性と欲望の葛藤が、堅実に存在することであり、選択という現実は民主主義ともに、未来を有するのである。